

日本泌尿器科学会創立百周年記念

『泌尿器科とわたし』

体験手記・エッセー募集

主催 日本泌尿器科学会 / 共催 朝日新聞社

日本泌尿器科学会では、学会の創立百周年を記念して

泌尿器科医療の大切さについて

患者さんやその家族、一般市民などの視点から描いた

体験手記・エッセーを募集します

排尿のトラブルや泌尿器科のがんなど

泌尿器科に関係する悩みを持つ人は少なくありません

特に、高齢化社会を迎えて

そんな人が身の回りに増えてきています

人には話にくい、できれば誰にも知られたくない

そんなふうに思われがちな泌尿器科の問題について

今までの考えにとらわれない

みなさまの力作をお待ちしています

■応募要項

（内容）
「泌尿器科とわたし」をテーマに、ご自身のことはもちろん、ご家族や友人、社会一般の視点から見た、泌尿器科とあなたに関する体験手記やエッセーを募集します。病気の体験、介護での思い、仕事を止めた印象、泌尿器科のあるべき姿などを描いたオリジナルな作品を募集します。

（原稿）
1,200字以内（手書き、パソコンどちらでも可、手書きの場合は400字詰め縦罫用紙製本以内、パソコンの場合はA4横罫紙に35字×30行を目安に縦書きで印字してください）。

（応募方法）
A4用紙に①作品タイトル、②氏名（ふりがな）、③郵便番号・住所、④年齢、⑤職業、⑥電話番号、⑦本コントロールを知ったきっかけ、⑧差し支えなければ、⑨主治医とかかりつけの病院名を明記した「応募シート」を作品に添付し、下記宛先までご郵送ください（応募シートはA4サイズであれば用紙・書式は自由）、直封の封も込みは受け付けておりません。

（宛先）
〒104-8011 東京都中央区豊洲5-3-2
朝日新聞社企画事業本部事業開発部
医学・医療セミナー事務局内
「泌尿器科とわたし」体験記コンクール事務局

（締め切り）
11月25日（月）必着

（発表・表彰）
2012年3月朝日新聞紙面で発表、4月表彰式

■賞

日本泌尿器科学会賞（1人）……
創立百周年にちなみ
賞金100万円

朝日新聞社賞（1人）……賞金 50万円

立花 隆賞（1人）……賞金 10万円

榎 ふみ賞（1人）……賞金 10万円

入選（6人）……賞金各5万円

■応募上の注意

・応募作品は著作権の侵害を目的として（今後医療学術的なもの、芸術的なコンテスト等）に準ずる作品を対象外し、また応募者の選別は行いません。

・他者の権利やプライバシーを不当に侵害する内容は応募できません。他者の体験やテーマにする場合は十分ご注意ください。

・応募作に関する一切の権利は本協会に帰属し、主催者が自由と専断であるものとします。新聞などで紹介する際には、謝辞・敬称の付いた名前を著者に送付するほか、本協会の紹介を認める場合があります。

・寄せられた個人情報は、専断で学術論文の発表のみに使用します。事前の了解なくその他の目的で利用したり、第三者に譲渡することはありません。

・選考結果は応募者全員に郵送で通知します。選考に関する疑問のお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

・日本泌尿器科学会のご定款はご確認ください。

■お問い合わせ

「泌尿器科とわたし」体験記コンクール事務局
TEL. 03-5153-0241
(10:00~18:00、土・日・祝日を除く)

■審査委員



本間之夫
(日本泌尿器科学会理事)
(東京大学教授)



立花 隆氏
(ジャーナリスト)



榎 ふみ氏
(女優)



内藤誠二
(九州大学教授)



仲谷 達也
(大阪府立大学教授)

町田智子
(朝日新聞社
企画事業本部部長)



日本泌尿器科学会

The Japanese Urological Association

<http://www.urol.or.jp>